

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

TSUJIMOTO Yoko: Curriculum Vitae

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-12-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2047

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



辻本 庸子

(つじもと ようこ)



学歴

- | | | |
|---------|----------------------|--------|
| 1973年3月 | 神戸女学院大学文学部英文学科 | 卒業 |
| 1985年4月 | 神戸女学院大学大学院文学研究科英文学専攻 | 修士課程入学 |
| 1986年3月 | 同上 | 修了 |
| 1987年4月 | 神戸大学大学院文化科学研究科文化構造 | 入学 |
| 1989年3月 | 同上 | 退学 |

職歴

- | | | | |
|------------------|------------------------|--------|----|
| 1989年4月 | 神戸市外国語大学 | 助手 | 採用 |
| 1991年4月 | 神戸市外国語大学 | 講師 | 昇任 |
| 1994年4月 | 神戸市外国語大学 | 助教授 | 昇任 |
| 1998年4月～1999年3月 | イエール大学 (U.S.A) | にて在外研究 | |
| 2005年4月 | 神戸市外国語大学 | 教授 | 昇任 |
| 2008年12月～2009年8月 | フルブライト奨学金 (研究員プログラム) | 受理、 | |
| | イエール大学、カリフォルニア大学バークレイ校 | にて研究 | |
| 2016年3月 | 神戸市外国語大学 | 退職 | |
| 2016年4月～ | 神戸市外国語大学・神戸女学院 | 非常勤講師 | |
| 2016年4月 | 神戸市外国語大学 | 名誉教授 | |

奨学金

- | | |
|-------|----------------------|
| 1987年 | 神戸女学院同窓会奨学金 |
| 1995年 | カナダ政府による研究助成金 |
| 2008年 | フルブライト奨学金 (研究員プログラム) |

学会活動

日本英文学会、日本アメリカ文学会、日本マーク・トウェイン協会所属

1993年～1994年 日本アメリカ文学会関西支部事務局担当

1997年～2004年 日本アメリカ文学会関西支部地区委員

2005年～2014年 日本アメリカ文学会関西支部評議委員

2006年～2010年 日本英文学会委員学校代表

2007年～2009年 日本英文学会関西支部編集委員

2011年～2013年 日本英文学会編集委員

2011年～2013年 日本マーク・トウェイン協会編集委員長

2011年～ 現在 日本アメリカ文学会事務局幹事

業績一覧

I) 著書（共著）

1. 「侵犯する海民」『海のリテラシー——北大西洋海域の「海民」の世界史』田中きく代編（創元社、2016）：70-85。
2. 「自由への道——ストウの『ドレッド』における沼をめぐる」『アメリカン・ロード——光と陰のネットワーク』花岡秀編（英宝社、2013）：51-73。
3. 「つややかな馬のように——ショパンにおける動物性」『あめりか いきものがたり—動物表象を読み解く』辻本庸子・福岡和子編（臨川書店、2013）：91-111。
4. 「視線のポリティクス：オキーフ・ウェスト・スタイン」『二〇世紀アメリカ文学のポリティクス』貴志雅之編（世界思想社、2010）：57-88。
5. 「デモクラティック・クレッシェンド——メルヴィルの移動体験」『＜移動＞の風景—英米文学・文化のエスキス』御輿哲也編（世界思想社、2007）：102-126。
6. 「女たちの一撃」『神話のスパイラル—アメリカ文学と銃』花岡秀編（英宝社、2007）：147-184。
7. 「＜誠実＞から＜喜び＞へ」『語り明かすアメリカ古典文学12』アメリカ文学の古典を読む会編（南雲堂、2007）：178-184。
8. 「女性文学—ヴァイオレンスという座標軸」『二〇世紀アメリカ文学を学ぶ人のために』山下昇、渡辺克昭編（世界思想社、2006）：84-97。
9. 「金メッキ時代—文化の不協和音」『アメリカ文化史入門：植民地時代から現代まで』亀井俊介編（昭和堂、2006）：110-129。
10. 「仮面をめぐる攻防：アメリカ文化史とマイノリティ」『アメリカ——文学史・文化史の展望』亀井俊介監修、平石貴樹編（松柏社、2005）：201-232。
11. 「トウエインの異装の試み」『共和国の振り子—アメリカ文学のダイナミズム』大井浩二監修（英宝社、2003）：125-142。
12. 「『ラモーナ』 もう一つのメッセージ」『亀井俊介と読む古典アメリカ小説12』アメリカ文学の古典を読む会編（南雲堂、2001）：217-233。
13. 「19世紀アメリカの探偵物語：フィラデルフィア発」「19世紀アメリカ女性作家の探偵物語：裏部屋の物語」『探偵小説と多元文化社会』別府恵子編（英宝社、1999）：53-88。
14. 「二重性の変奏：『うすのろウィルソン』と『かの異形の双生児』」『隠された意匠：英米作家のモチーフと創造』鴨川卓博 他編（南雲堂、1996）：233-249。

II) 論文

1. 「狂気と正気のはざまで一バロネス・エルザの軌跡」『越境する女性詩人たち——モダニズム再考』神戸市外国語大学 外国学研究 第88号 (2014): 107-124。
2. 「ジャンル攪乱—スポフォードとギルマンの探偵小説」(『英文学研究』支部統合号 vol.V. 特別寄稿論文、2013): 49-57。
3. 「エートスの回復:『やつは死んだのか?』」『マーク・トウェイン: 研究と批評』第4号、日本マーク・トウェイン協会編(南雲堂、2010): 24-32。
4. 「銃声のとどろき」『神戸外大論叢』第59巻第6号(2008): 67-86。
5. 「嘘をつく女」『神戸外大論叢』第56巻第2号(2005): 157-172。
6. 「アメリカ文学における女性像—二つの娼婦物語」『男女共同参画社会へ向かって—“セクシャル・ハラスメント”について考える』神戸市外国語大学 外国学研究 第59号(2004): 145-157。
7. 「二連式探偵再考—トウェインとポー」『マーク・トウェイン—研究と批評』第2号、日本マーク・トウェイン協会編(南雲堂、2003): 52-61。
8. 「平等との戦い: トクヴィルとクーパー」『トクヴィルと現代』立命館大学人文科学研究所紀要 No.72 (1998): 73-85。
9. “Wharton’s Double Voices in *The House of Mirth*”『神戸外大論叢』第49巻 第6号(1998): 25-43。
10. 「アナロジーの力学」『神戸英米論叢』第45巻 第8号(1994): 197-212。
11. 「Genderの相剋:『緋文字』考」『アメリカ文学研究』第29巻(1992): 19-33。
12. 「PIAZZAの道化」『神戸外大論叢』第41巻 第6号(1990): 75-96。
13. 「語り・かたり・社会—“Benito Cereno”試論」『神戸外大論叢』第40巻 第7号(1989): 69-83。
14. 「とり払われた神秘のヴェール—*The Blithedale Romance* の一考察」*The Edgewood Review* 第15号(1988): 1-14。
15. 「Ahab 試論—呪術者としての顔」『阪南大学阪南論集』人文自然編 第23巻 第4号(1988): 21-30。
16. 「*The Proud Stone Beneath the Soil*—『ピエール』試論」*The Edgewood Review* 第13号(1986): 25-39。

III) 翻訳

1. 「引力II」バーバラ・E・スネデカー 『マーク・トウェイン 研究と批評』第13号(2014): 67-74。
2. 「引力」バーバラ・E・スネデカー 『マーク・トウェイン 研究と批評』第12号(2013): 63-71。
3. 「やつは死んじまった？」マーク・トウェイン、『三田文学』No.103(2010年秋季号): 178-227。
4. 『ベン・ハー: キリストの物語』ルー・ウォレス、(松柏社 2003)武田貴子氏との共訳
5. 「ウォートンと映画、テレビ小史」スコット・マーシャル、『イーディス・ウォートンの世界』別府恵子編(鷺書房弓プレス 1997): 59-80。

IV) その他

1. 「生き続ける郊外文化——フランク・ロイド・ライトの自邸兼スタジオ、ならびにアーネスト・ヘミングウェイの生家」『北米の小さな博物館3: 「知」の世界遺産』北米エスニシティ研究会編(彩流社、2014): 224-233。
2. 「だれが黒人民話を語れるか?——アンクル・リーマスの博物館」『北米の小さな博物館2: 「知」の世界遺産』北米エスニシティ研究会編(彩流社、2009): 166-175。
3. 雑誌記事: 特集「21世紀の洋書棚」「介入のすすめ—Rey Chow, *The Protestant Ethnic & the Spirit of Capitalism*.」『英語青年』(研究社 2007年11月) vol. 153: 492-494。
4. 雑誌記事: 特集「21世紀の洋書棚」「生きる徴」『英語青年』(研究社 2007年5月) vol. 153: 97-99。
5. 「セックス博物館」『北米の小さな博物館: 「知」の世界遺産』北米エスニシティ研究会編、(彩流社、2006): 24-29。
6. 雑誌記事: 特集「72人に聞く苦手な作家」『英語青年』(研究社 2006年6月) vol. 152: 144。
7. 雑誌記事: 特集「英米文学者の日本文学」「余白の触感: 河野多恵子の世界」『英語青年』(研究社 2003年5月) vol. 149: 88-89。
8. 雑誌記事: 特集「英文学の教え方」『英語青年』(研究社 2002年12月) vol. 148。
9. 「略伝—作家ウォートンの軌跡」『イーディス・ウォートンの世界』別府恵子編(鷺書房弓プレス、1997): 21-38。

V) 書評

1. 山口ヨシ子 『ダイヤモンドのアメリカ——大衆小説の文化史』の書評『英文學研究』日本英文学会編 第92巻(2015): 168-171。
2. “Japanese Contribution, 2011-2012,” *American Literary Scholarship: An annual 2012*. Durham and London: Duke UP, 2014: 444-461. (共著)
3. 舌津智之 『叙情するアメリカ——モダニズム文学の明滅』の書評『アメリカ文学研究』日本アメリカ文学会編 第47号(2010): 65-69。
4. 入子文子、武藤脩二編『視覚のアメリカン・ルネッサンス』の書評『英文學研究』日本英文学会編 第84巻(2007)

VI) 口頭発表

1. 日本英文学会関西支部大会 シンポジウム「諷刺の精神」にて「トウエインと諷刺——『ハックルベリーの冒険』における「ごっこ」遊び」。於：武庫川女子大学 (2015)
2. 日本アメリカ文学会 全国大会シンポジウム「あめりか・いきものがたり」にて司会ならびに「ショパンの動物目線」。於：関西大学(2011)
3. 日本マーク・トウエイン協会のシンポジウム「トウエインと資本主義」において「再生への道のりー『あの人は死んでいるの?』」。於：秋田大学(2009)
4. 全米日系人歴史協会主催の日米合同シンポジウム“The Legacy of Japanese Women: Past, Present & Future: US-Japan Women’s Dialogue”にて“Two Encounters with Japanese Immigrants to the U.S” 於：San Francisco (2008)
5. 日本アメリカ文学会 関西支部 第51回支部大会シンポジウム「20世紀アメリカ文学の政治学」にて「イメージを創る一女の政治学」。於：京都大学(2007)
6. Mark Twain International Convention. “White-Washed Icon: Polemical Twain”(Elmira College, 2005)
7. 日本アメリカ文学会 全国大会シンポジウム「神話のスパイラルーアメリカ文学と銃」において「女たちの一撃-銃神話の変容」。於：甲南大学(2004)
8. 日本英文学会シンポジウム「変貌する Mark Twain—文学史と文化史」において「女を読むこと」。於：北星学園大学(2002)
9. 日本アメリカ文学会 関西支部例会におけるミニ・シンポジウム「アスタープレイス騒乱の残響: Redburn の場合」。於：大手前大学(2000)
10. 日本英文学会にて「Analogy の力学」を発表。東京大学(1993)
11. 日本アメリカ文学会 関西支部例会にて「Gender の相剋」を発表。神戸女学院大学(1991)
12. 神戸女学院大学英文学会にて「おごれる石」を発表。神戸女学院大学(1986)